

# 各地区業況アンケート結果（2019年9月調査分）

（2019年9月27日）

全国鉄鋼販売業連合会

9月26日締切で、当会役員149名に対しこのアンケートを行ったところ73名の回答があり（回答率49.0%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※  $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

## 1. 7割強の企業が売上前年割れ

問1】貴社の8月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	1	3	15	23	30	72	78
比率	1%	4%	21%	32%	42%	DI-108	DI-28
売上金額/前年同月比	4	3	15	24	27	73	79
比率	6%	4%	20%	33%	37%	DI-92	DI-16

## 2. 収益悪化、赤字企業5割

問2】貴社の8月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	7	16	13	28	8	72	79
比率	10%	22%	18%	39%	11%	DI-19	DI+44

## 3. いまだ販売盛り上がりならず

問3】貴社の営業窓口から見て9月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		17	25	10	4	56	-2	-54
民間建設向		22	22	13	4	61	+2	-40
自動車向		6	25	5	1	37	-3	-38
その他需要家向		10	35	13	3	61	-15	-50
仲間取引		7	33	13	4	57	-25	-58
計	0	62	140	54	16	272	-9	-49
比率	0%	23%	51%	20%	6%			

## 4. 昨年の様な秋需は期待できず

問4】貴社における向う10月から12月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	1	28	30	11	3	73	78
比率	1%	39%	41%	15%	4%	DI +17	DI +8

## 5. DI値6ヶ月連続マイナス

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	品種別	A	B	C	D	E		9月
DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	DI
-3	3	0	0	19	11	0	0	6	0	-7	-14	-28	鉄筋用丸鋼			20	9		29	-31
0	6	15	7	0	0	-3	0	-6	-3	-16	-18	-23	構造用丸鋼			20	8		28	-29
-9	-3	0	-3	3	0	-3	3	-8	-8	-9	-18	-20	平角鋼			28	3		31	-10
9	3	18	41	41	36	15	11	-8	-24	-22	-36	-29	H形鋼		1	21	8	1	31	-29
76	81	100	125	89	120	85	57	25	12	4	-11	-15	コラム			17	6		23	-26
-8	-3	-11	5	3	-6	-11	-8	-3	-10	-14	-15	-16	小形山形鋼		1	24	7	1	33	-24
-11	-8	-11	3	3	-6	-14	-8	-15	-15	-16	-20	-23	中形山形鋼		1	23	9	1	34	-29
-11	-3	-11	5	0	-9	-11	-3	-13	-19	-17	-23	-21	溝形鋼		2	23	9	1	35	-26
0	-9	-16	-6	-14	-9	-16	-9	-3	-12	-10	-13	-15	軽量形鋼C形			20	8	1	29	-34
-9	0	-5	-5	-5	0	-9	0	-12	-10	-5	-5	-11	軽量形鋼広巾			13	2	1	16	-25
4	7	12	8	12	0	-3	0	-21	-32	-34	-43	-58	冷延薄板			11	15		26	-58
-3	-3	0	17	14	16	-3	-3	-21	-28	-34	-55	-55	熱延薄板		1	12	12	1	26	-50
3	6	3	0	8	0	-7	-10	-32	-43	-45	-52	-53	表面処理鋼板			10	17	1	28	-68
-3	-3	-10	20	34	16	3	0	-25	-39	-38	-44	-51	酸洗鋼板			14	15	1	30	-57
5	7	7	20	20	18	7	0	-13	-19	-33	-50	-48	中板			22	14	2	38	-47
23	31	41	49	45	36	15	17	0	-10	-29	-50	-38	厚板			24	11	3	38	-45
11	25	13	33	19	6	19	5	0	-13	-12	-32	-25	極厚板			12	3		15	-20
3	-3	-7	0	6	-6	6	0	0	0	-14	-19	-13	縞板			21	6	1	28	-29
-7	2	3	16	3	0	-5	-10	-8	-18	-15	-30	-18	中径角			26	9	1	36	-31
2	-5	0	3	8	13	2	2	-8	-8	-13	-16	-10	ガス管黒			28	7	1	36	-25
-2	-5	-3	-3	-8	0	-5	-5	-13	-19	-5	-17	-11	構造用鋼管			30	6	1	37	-22
2	5	5	14	14	10	2	1	-9	-15	-19	-28	-28	計	0	6	419	184	18	627	-34

## 6. 市況は弱含み、需要動向も盛上らず不透明なまま

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	丸棒の秋需の出荷は予定通りの数量を見込める。故に価格は高値継続で推移している。現状がいつまで続くか注視している。
	B	8月のH形鋼、一般形鋼の荷動きは、営業日なりの動きしかない。予想はしていたが今一つ物足りない。9月は今のところ好調だが、続かないと思われる。9～10月は北海道の最盛期であるので期待している。在庫調整は道半ばで、大口引合いも少ないため様子見となっている。
東北	A	新規物件はありそうだが、少ない。少ない物件を大切にしたい。
	B	スクラップ価格は下落傾向で先安観がある。足元、物足りない。
	C	物件不足とユーザーの買い控えにより、鉄筋の荷動きは悪い。市況は目に見えて下落している。
	D	全体的にまだ荷動きが悪い。地場企業も過度に忙しい状況でもなく、増税前の駆け込みも薄い状態である。その中で特にファブ関係は下期の山が高い状況であるため、またボルトの入手難も緩和されつつある。10月以降、需要が高まる予測をしている。
新潟	A	支給材価格の引上げ、ステンレスの値上げなど市況下げ止めも考えられるが、スクラップ下落後、荷動きも良くないことから、いつもの秋より期待薄である。
	B	8月は実働日数が数字に大きく影響。秋需の動きは鈍い。
	C	新規見積もりも少なく、秋需への期待も薄く価格競争は避けたい。
	D	短納期、小ロットが中心で盛り上がり欠ける。今後の建築関係は、一定の需要はあるが、量的に少ない。
	E	荷動きは8月より若干よいが、消費税アップ前の駆け込みは全くなし。
	F	8月は稼働日の影響もあるが、良くなかった。需要も激減している。一過性の減少ならいいのだが、9月に入っても同様の動きが続いている。メーカー動向も今後に影響を与えるので踏ん張ってほしい。
	G	暖房機、建築金物などの季節需要は盛り上がり欠く。産業機械は低位、自動車関連は者終に濃淡はあるものの総じて低調である。ファブは稼働に空きができることはないが、山積み量としては、一頃に比べると落ち着いている。
神奈川	A	公共建設、民間建設は安定した受注を頂いている。また、工作機械向けの受注も増えてきた。
	B	先行き多少なりとも動きが良くなると思われる。
東京	A	7月末の薄板3品在庫は前月末に比べ減少したとはいえ、いまだ440万トン以上でかなり高いレベルである。高炉メーカーほか材料メーカーは値上げを達成するべく要請の声が大きくなっている気がする。輸入材も安いレベルであり、製品価格が上がるどころか値引き要請まである。しばらくはこのような状況が続くそうである。
	B	(薄板) 建築関連以外、明るい話は聞こえてこない。下期は多少なり秋需で上昇予想だが、大幅な好転は期待できない。集購価格の+4円には正直残念である。
	C	(鋼管) 8月盆明け以降の出荷が悪く価格もさらに弱基調で推移している。
	D	構造用鋼の動きは低調に推移している。また、各メーカーの生産能力に対して少しずつ余裕が出てきている。

東京	E	薄板三品在庫は市中で騒いでいるほど在庫の過剰感はない。高炉メーカーと同様に流通も商売が永続するために適正なマージンを取るべきである。販売価格を下げて量売る姿勢は慎むべきである。
	F	8月は稼働日の影響で減少傾向だったが、一部の建築向け部材のおかげでトータルの計画通りの販売であった。9月も稼働日が少なく、台風の影響で物流がストップし、建設向けの動きが減少しているため厳しい見込みである。
静岡	A	従来、盆休み前は、休み明け作業への鉄鋼製品の引合い（納期）に追われていたのだが、今年は「休み明けで良いよ」という客先が大半。お客様もしっかり休みを取られた様である。休み明け（8月19日）以降、引合いは多かったが、売れない落ち着いた状況だった。商社絡みの大型物件、Hグレード、Mグレードファブの加工先は市中の業者ではなく、メーカー直送、商社引当て便の入庫が増加している。市中にあるS造物件は極めて少なく、地元の中小ファブの控えありの状況である。地区限定の鋼管杭案件も建築承認待ちの状況。既に2ヶ月施行ができない。ボーリング調査など支持率の確定と深度の判断が厳しくなっている。毎月、人手不足による減収減益、借入金増の企業の廃業、倒産がある。
	B	秋需の盛り上がりは今ひとつ欠ける展開。ボルト納期の影響で、決まっていた案件が動きだしている。しかし、特約店在庫で対応する中小案件は出件数も少なく、今後に不安あり。
石川	A	自動車の集購価格の値上げが明るみになったが、基調が変わりそうな気配は全くない。現行価格を維持することもままならない状況である。値段を下げてでもマーケットが拡大するわけではないことを皆がわかっている筈なのに置き場所に困ったのか焦った業者が売りに出ると市況は台無しになる。拡販も大事かもしれないが、需要の動向を捉えて的確な申し込みを続けていきたい。
	B	ハイテンションボルトが徐々に出荷されてきた。特にRグレード、Jグレードのファブは助かりつつある。Sグレード、Hグレードの鉄骨需要は依然として堅調で2年先まで続いている。モノ造りは工作機械の国内需要は堅調。他の産業機械業界は中堅クラスが堅調。休日の増加や残業規制、トラックのドライバー不足、職人不足で間接経費は今後、下がらないだろう。粗利は15～20%必要となっている。
富山		輸出向けは30%減、国内向けは20%減、ヒット商品は横ばいである。コストアップと相場暴落の予感の中で、いつも通り収益より量を追うことになってしまうのか。ゼネコン、ファブは黒字で、流通、メーカーは赤字なのに。
愛知	A	（薄板）悪い状況は続いているが、8月は休みがあるとはいえ、かなり悪い。売上数量、金額ともに落ちているが、利益率が仕入高で販売価格が抑えられ厳しい状況である。単月では利益を上げられない。9月に入り、少しは良くなっているが、ここ数年の数字と比較すると悪い。消費増税後どうなるか、また世界情勢の影響が心配である。
	B	（集購）全体的に数量はやや上向いている。然しながら、コストアップ分（人件費、輸送費など）は転嫁できずに吸収している状況。我慢比べでは当地区の発展は望めない。（プロパー）車は新規案件がなく、数量ダウンといった厳しい状況。家具、陳列など消費増税前の駆け込み需要から微増になったが、10月以降に荷動きが全く読めない。
	C	消費増税の影響がはっきりしないが、少々需要が減退するような気がする。盛り返す購買力に欠けるのではないか。
	D	全体的に良くないが、建築はまだまし。

三重	A	8月から景況感がどんどん悪くなっているのを肌で感じる。ボルト問題もまだまだ解消されず、中小物件の動きが非常に悪い。追い打ちをかけるように次々とやってくる台風。台風15号によって被害を受けた関東地区の方にはお見舞い申し上げます。三重県の直撃は免れたものの大雨で一日中交通がマヒした。最近、天災が増えてきたと思うのは私だけだろうか。突然、降りかかる災難への備えが大切である。今後はなかなか難しい情勢になりそうだ。
岐阜		東京製鉄の発表とスクラップ市況だけで弱含みというユーザーがいるものの現状は競合も発生せず平和である。もう少し売上がほしい。競合の問題がないのは、どの企業も人員、とくにセールスに割く人間が足りていないのか。
大阪	A	9月に入り、中小物件が多少動いてきた。戸建て、建売住宅の底堅い動きは続いている。しかし、鉄骨物件はいまだハイテンションボルト不足の影響が尾を引いている感じでさえない動きが続いている。また、9月に入るとともに公共土木工事の動きが見えてきたので、今後に期待したい。
	B	需要は昨年に比べ、減少している。10～11月の需要期に入るが、今年度は昨年度ほどの荷動きは期待できない。海外情勢が海外市況も下落気味。それに合わせて国内の一部メーカーも反応しており、今後は厳しい状況がしばらく続くだろう。
兵庫		(厚中板) 8月は建機メーカーが夏休みのため受注が大幅減になった。仲間売りも減少した。
岡山		ハイテンションボルトはまだまだ不足。中小鉄工所の事業継承問題をよく聞く。廃業なり譲渡を選ぶところも多い。
香川		8月は例年、実働も少なく厳しい状況だが、今年の8月は特に厳しかった。ファブの中小案件はほとんど出てこない。ハイテンションボルトの影響はまだ続くように思われる。
北九州		メーカーの値下げ発表後、市場に先安感が出ており、流通は様子見状態。足元の荷動きは多少でてきているが、力強さに欠けており、先行き不透明。